



【学校教育目標】

自ら考え学習する生徒（自主）
心身ともに健康な生徒（剛健）
情操豊かな生徒（敬愛）

栃木市立寺尾中学校

校長 入野 伸行

学校づくりスローガン『だれ一人欠けてはならない大切な仲間 寺中丸』

生徒、保護者、地域の皆様に感謝 ～寺尾中学校“最後の二学期”を終えるにあたり～

今年度で最も長い第二学期が終わろうとしています。年が明けるといよいよ寺尾中学校の“最後の一年”の日々も残り少なくなっていくと思います。“最後の二学期”を振り返ってみると、三峯祭の準備から始まりました。三峯祭は学校にとって大きな行事であり、生徒にとっても大きく成長する機会です。また、保護者や地域の方に学校の雰囲気や子供達の姿を知ってもらう場でもあります。本校が少人数というところは、ややもすると“弱み”にもなります。しかし、それを“強み”として捉え、考え工夫することで一人一人が活躍する三峯祭となります。このことは、行事に限らず、日々の学校生活における授業、各委員会や係活動、部活動でも同じことが言えます。11月に盛大に行われた閉校記念イベントにおいても、少人数ということを“弱み”ではなく“強み”として捉え、考え工夫したことにより、生徒、保護者、学校、地域、卒業生が一致団結し、寺尾地区が一体となって素敵なイベントが実施できたと思われます。しかしながら、このように少人数を“強み”とするには、生徒一人一人の努力、保護者一人一人の協力、地域の皆様一人一人のご理解があつてのことと思います。本校職員一同も、寺尾中学校最後の教職員としての矜持をもち、少人数を“強み”とした教育活動を行っていきます。第二学期を終えるにあたり、本校教育活動に対しての保護者、地域の皆様のご理解、ご協力に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

チャンスを捕まえるために ～「職業人に学ぶ会」元プロ野球選手 中野佐資さん～

11月17日（月）に、本校の卒業生でもあり、元阪神タイガースプロ野球選手の中野佐資様を講師にお招きして「職業人に学ぶ会」を行いました。プロ野球選手を目指すことになった経緯や当時心掛けていたこと、プロ野球選手になって活躍していく中で考えた“プロ意識”について、身振り手振りを交えながらわかりやすく話してくださり、多くのことを学ぶことができました。話の中で中野さん自身、中学校の頃から活躍していたわけではなかったとして、「努力を継続しているとそれを見ていてくれる人がいる。」「目標がうまくいかなかったときにあきらめてしまう人が多い。私はあきらめが悪かった。」「努力は多くの方がしている。チャンスが来た時にそれを捕まえられることが大切。」という自身の経験からの言葉が生徒たちの心に響いたようでした。最後に、現在の仕事をしている中で感じることで、「中学校で学習している内容に世の中で必要ないものはない。」「寺尾中の生徒は少人数でしか経験できないことをしている。そのことに、胸をはってほしい。」と勇気をいただきました。



“一日を、自分を、みんなを大切に”

～表彰・講話集会～



11月26日(水)に、表彰・講話集会行いました。表彰は、読書感想文、人権作文、英語スピーチ、「小さな親切」作文、よい歯の作文、下野書道展、理科学研究展覧会、ソフトテニス大会、読書週間標語と多岐にわたりました。本校生徒の活躍をうれしく思います。表彰おめでとうございます。

また、校長講話として以下の内容の話をしました。

残り1か月で令和7年が終わります。年が明けると、令和8年です。令和8年の大半の月日を先生方、生徒の皆さんは今とは違った環境で生活することになります。そう考えると、残り限られた月日です。1日1日を、自分を、そして周りのみんなを大切にしていって欲しいと思います。自分を大切にすることは、過去には戻れませんが未来はつくり出すことができるので、未来を信じて自分で決めた習慣を継続していくこと。みんなを大切にすることは、他者のよさを見つけそれを伝えていくこと(ふわふわ言葉の励行)と私は思っています。実践していって欲しいと思います。

立候補者の“心意気”に敬意を表す

～生徒会役員選挙と立会演説会～

11月27日(木)に、生徒会役員選挙を行いました。選挙管理委員の生徒が会場を準備するとともに、立会演説会の司会進行も行いました。今回の選挙で選出された生徒会役員は、次年度の栃木北中の生徒会に引き継がれることになります。“学校をより良くしたい、みんなのために頑張りたい”と、立候補したすべての生徒の皆さんの心意気に心より敬意を表します。また、すべての立候補者の演説について、選挙に立ち会ってくださった学校運営協議会委員の●●様にもお褒めの言葉をいただきました。生徒の皆さん、栃木北中に向けて、そして寺尾中の最後の1日までよろしくお願いします。



理解と想像力

～人権集会 盲導犬体験学習～



12月1日(月)に来校し本校体育館で全校生を対象に東日本盲導犬協会職員の方を講師に招いて、盲導犬体験学習を人権集会として行いました。目の不自由な方でも障害

にいろいろな違いがあることや日常生活での困り感について学ぶとともに、私たちができる支援についても具体的にお話していただきました。また、アイマスクを付けて盲導犬と一緒に歩く体験も行いました。改めて、相手を理解し尊重することの大切さとそれを支える想像力の必要性を感じました。

地域の教育力に感謝

～寺中アシストネット事業の一端～(百人一首、読み聞かせ、さつまいも掘り・調理、掲示物等)



今年も多くの方にご支援をいただきながら様々な教育活動を実施してきました。本地区ならではの一人一人に対する手厚い支援に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

